

事業実施主体	事業内容	事業費(円)		A : 計画以上の成果が見られる
一般社団法人 日本施設園芸 協会	次世代施設園芸拠点等で得られた成果等を横断的に取りまとめ、その成果を 全国に波及させるため以下の4つの取組を実施する。 1. 次世代施設園芸拠点等の取組等の横断的な情報発信 2. 次世代施設園芸拠点等を始めとした先進的な取組を行う生産者のネットワークの形成、栽培・経営指導、データ等の収集・分析、手引きの策定等 3. 次世代施設園芸の指導者育成のための研修、人材育成カリキュラムの検討、インターンのマッチングシステムの構築等 4. 農業用ハウスの設置コスト低減に向けたビジネスモデルの構築、低コスト化技術の収集・発信	62,001,559円 (うち国費 62,001,559 円)	総合評価	B : 計画通りの成果が見られる
				C : 計画通りの成果がみられない
			総合所見	・次世代施設園芸拠点等への技術的・経営的指導を通じて得られた知見やノウハウについてとりまとめ、セミナーや手引き等により積極的に周知を行っていることから、成果の普及の一助となっていると評価できる。 ・人材育成に向けて全国6カ所で開催された研修は約590人が受講しており、人材育成に向けた共通カリキュラムの検討も進められたことから、施設園芸に携わる人材育成が広く行われたと評価出来る。